

一般質問通告書

佐野市議会議長様

受付	番号 9
	令和 7 年 1 月 27 日
	午前 9 時 45 分

議会名	令和 7 年 第 6 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 1 番 堀川 悅郎		
答弁を求める者 (選択してください)	市長・副市長・教育長・担当部局長		
一般質問時に使用する資料の 有無 (選択してください)	あり (資料提示・資料配付・モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1, 持続可能な学校運営について (1) スクールサポートスタッフについて	<p>① スクールサポートスタッフの配置に至る経緯と、現在の配置状況について伺います。</p> <p>② スクールサポートスタッフを配置した上で、教員の働き方がどう変化したのか伺います。</p> <p>③ 今後、スクールサポートスタッフの仕事内容の明確化やシステム化、増員が必要と考えるが、当局の考えを伺います。</p>		
(2) さわやか教育指導員について	<p>① 本市におけるさわやか教育指導員の職務内容について伺います。</p> <p>② さわやか教育指導員が授業の補助に入る上で、教員の授業にどのような影響があるのか伺います。</p> <p>③ さわやか教育指導員が授業の補助に入ることで与える、子どもの学びへの影響について伺います。</p>		

	<p>④ 本市におけるさわやか教育指導員の契約について、今以上に安定的な学校支援体制にするためにも、佐野市の配置要綱の“学習活動への支援”から、先進地のように、例えば“教科指導等に係る代替業務”などへの変更について伺います。</p> <p>① 本市における臨時採用教職員の人数について伺います。</p> <p>② 臨時採用教職員として採用できるペーパーティーチャーについて、教育委員会が把握している人数を伺います。</p> <p>③ ペーパーティーチャー掘り起こしのために、佐野市独自のペーパーティーチャー説明会などの実施を提案するが、当局の考えを伺います。</p> <p>④ 今後、安定的な学校支援体制確立のために、佐野市独自のティーチャーバンクの設立について、当局の考えを伺います。</p> <p>① 子どもの主体的な学びを通して当事者意識等を醸成するため、市内小中学校及び義務教育学校や教職員が特に重視している取り組みについて伺います。</p> <p>② 本市における単元内自由進度学習の進捗状況について伺います。</p> <p>③ 現行の学習指導要領では“主体的な学び”が掲げられ、中央教育審議会（中教審）では“子どもを主語にした学校”を中心とした考えの中で、学びをゆだねる学校作りが始まっています。そのためには単元内自由進度学習を全ての学校・教科で順次、進める必要があると考えるが、本市の考えを伺います。</p>
--	---

2, 佐野市役所の行政改革・業務改善について (1) 行政改革に基づく業務改善について (2) 職員提案制度について	<p>① 平成29年度に実施した業務量調査がどのように業務改善に生かされてきたのか。</p> <p>② 事業を見直す中で、重要な判断基準になる項目について伺います。</p> <p>③ 事務事業の見直しについて、外部評価委員会の設置とあわせて事業の見直しを実施する部署が必要と考えるが、当局の考えを伺います。</p> <p>① 職員提案制度の直近の受理件数について伺います。</p> <p>② 評価方法について伺います。</p> <p>③ 提案がどのような市民サービスや庁内改善に寄与したのか伺います。</p> <p>④ この制度は、職員の意欲向上、やる気、働きがいにつながるものと考えるが、今後の採用条件やあり方について伺います。</p>
--	---